

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		53,819	62,888
特定財源	国庫支出金	1,222	977
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	29,000
一般財源		52,597	32,911
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.8	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	2,300.0	1,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,015.0	2,440.0
市民一人当たりの経費		1.1	1.2
総額		56,834.0	65,328.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	221	就学援助システム委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	151	峰の原高原児童生徒通学費負担金
その他	53,447	就学援助費 特別支援教育就学奨励費ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	79	就学援助システム委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	122	峰の原高原児童生徒通学費負担金
その他	62,687	就学援助費 特別支援教育就学奨励費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教育の機会均等を図るため、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。 認定会議を開催し、世帯の状況を考慮する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	給食費については、給食センターに直接支払いをすることで、給食費の滞納を減らす。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
認定会議を開催し、適切な認定を行う

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
-----------	------------

総合評価コメント

教育の機会均等を図るため必要な事業

2次評価コメント

他市の状況等を見極める必要がある（就学援助の在籍率は小中学校とも県内トップ。適切な運営となっているのか）

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--